



八王子地本申第3号

「2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れ」

団体交渉を行う！！その③ 11～15項目

組合

11. 他区所の使用状況、乗継僅少や輸送混乱時を鑑み、東所沢駅の上りホーム詰所を残し、乗務員の意見を踏まえて武蔵野線の駅ホームに乗務員用トイレを設置すること。
詰所を廃止する理由は。また、行路上最短の業務内容は？
異常時等は休憩する時間がほとんどなくなる。
20分で本区へ戻るといのは現実的ではない。片道約500m歩く。ホーム詰所の設置を求める。
12. 東所沢駅の新座方に社員用階段（こ線橋）を設置すること。→本区への移動が近くなる。計画があったのではないかと？
いずれは設置をする計画はあるのか。
13. 武蔵野運輸区の食事スペースを確保すること。食事をするエリアと執務エリアを分けること。またIH調理器を設置すること。
仕事の隣で食事をするというのではなくきちんと棲み分けをしてほしい。レイアウトがあらかじめどのような計画かの情報が入ってこない。使用の頻度は少ないが、立川車掌区にも関係してくる。
14. 大月駅における本線乗務員の分割・併合作業について、教育・訓練の充実を図ること。
必要な訓練は実施できているのか。現在の進捗状況は？原則はダイヤ改正までに全員終わらせるべきだ。未了者への対応は？
本線の作業においても必要なフォローをしっかりと行うこと。
15. エルダー制度の趣旨に鑑みて、JETS 拝島(委)に関係する派出所員の技術・技能が十分に発揮でき、働き甲斐と生活設計を十分に考慮した職種や勤務地とすること。
様々経験をし、技術がある社員がたくさんいるので本人希望を把握して、配属を決めるべき。

会社

11. 東所沢駅近傍に武蔵野運輸区を設置するため、乗継ぎ詰所は廃止する。
駅の事務所を改良するため。本区に乗務員がいた方が異常時等把握しやすいので詰所を廃止する。
最短は20分である。
異常時等では駅の事務所やトイレを利用していいように駅と打ち合わせている。ホーム詰め所を作る計画はないが意見は受け止める。
12. 現時点では、社員用階段を設置する考えはない。なお、業務の運営に必要な設備等は整備していく。
現行計画はない。そのような計画は把握していないが、設置をしないということはない。
13. 業務の運営に必要な設備等は整備していく。
IHや水道の設備は整えている。オープンスペースとしてエリア分けは行っていく。
立川車掌区にも周知を行っていく。→確認
14. 必要な教育・訓練は実施していく考えである。
2日間の変形での訓練を2月より行っている。しかしダイヤ改正までには全員の訓練は終わらない。改正日で40名程度終了予定。フォローの体制はとっていく
訓練未了者については変番にて対応していく。
15. 社員の運用については、業務上の必要性に基づき、任用の基準に則り取り扱っているところである。
人事ユニットで面談を行っているところである。
本人希望を尊重して、技術技能が活かせるようにしていく。

安全、健康、ゆとり、働きがいある職場を
職場からの声で創りだそう！！